

# 技能章細目（新進級課程）

2019.04.01 現在

## 01.野営章

| No. | 考查方法  | 細目   |
|-----|-------|--|
| 1   | 報     | 入団以来通算10泊以上のキャンプ（3泊以上のキャンプに2回参加したことを含むこと、また自分が計画した班キャンプを含むことができる）に参加していること。  |
| 2   | 口/記   | キャンプ地を選ぶときの基本的な条件と自然環境を保護するための注意点を説明し、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する。  |
| 3   | 実→口   | 家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを3種以上張り、特徴、用途を説明できること。   |
| 4   | 実     | フライ付き家型テントを正しく張り、昼と夜、晴天と雨天、強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱、ソドクロス、換気窓、扉の扱い、乾燥作業ができること。また、ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができる。                              |
| 5   | 実/報   | 木、竹などの材料を用い、正しいロープ結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること。   |
| 6   | 口/記   | キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。<br>ア 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法<br>イ 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由<br>ウ キャンプサイトにハエを発生させないための対策                          |
| 7   | 実→口/記 | 夜のキャンプサイトにおける正しい明かりの取り方を理解していること。また、ホワイトガソリン、灯油、ガス、乾電池を使用するキャンピング灯火を3種類以上使用した経験があり、取り扱い上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取扱いが説明できること。 |
| 8   | 記→実   | 2泊以上のキャンプに必要な個人携行品を身につけて点検を受けること。  |

## 02.野営管理章

| No. | 考查方法  | 細目   |
|-----|-------|--|
| 1   | 報     | 野営計画時において次の項目について点検し、点検報告書を作成する。<br>ア キャンプ地の選定（水質検査を含む）<br>イ 食料および燃料の手配<br>ウ 便所とごみ捨ての衛生処理<br>エ 班サイトの立地条件（炊事場・かまど配置条件を含む）<br>オ 現地における緊急対策 |
| 2   | 口/記→報 | 朝と夜の点検の重要性と心構えについて説明し、朝と夜の点検の各点検項目表を作成し、それを用いて実際のキャンプにおいて点検を行い、報告する。   |
| 3   | 口/記   | キャンプ中に起きるかもしれない突発事故（例えば急病、火災、盗難、虫害、風水害など）がおきた場合の処置について説明できること。   |
| 4   | 実→口/記 | 次のキャンプ用具の格納、保管に当たり、行うべき処置を知ること。<br>ア テント・フライシート イ グランドシート ウ ベグ<br>エ 工具 オ 炊具 カ ロープ類   |
| 5   | 実     | 水辺または水泳プログラムを有するキャンプの安全管理につき、特に注意する点を説明できること。  |
| 6   | 実・口→記 | キャンプにおいて朝礼、スカウトOWN・サービス、キャンプファイアを計画、実施し、それぞれの意義について説明する。   |
| 7   | 録/報   | 隊、地区または県連盟など1個隊以上の規模で行われるキャンプ、または常設キャンプ場の管理に通算3昼夜以上奉仕した経験があり、その奉仕記録または報告書を提出する。  |

### 03.救急章

| No. | 考查方法 | 細目   |
|-----|------|--|
| 1   | 証    | ボーイスカウト救急法講習会もしくはそれに準ずる救急法講習会を修了する。ただし、次の講習会の場合では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの講習会で履修できなかった細目については、別途考查を受け、合格すること。<br>ア 日本赤十字社（救急法講習、救急員養成講習）<br>イ 消防署（普通救命講習、上級救命講習） |
| 2   | 報    | 隊の救急箱を整備し（未整備品、充足、不足物品のリストアップ含む）、そのチェックリストを提出する。   |
| 3   | 報    | 県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し、その報告書を提出する。   |

### 04.野外炊事章

| No. | 考查方法  | 細目  |
|-----|-------|---|
| 1   | 実・口   | 戸外で、あり合わせの材料を用いて、地面を掘らない方法で、3種以上のかまどを作ること。また、常設かまどの正しい利用方法と注意点を説明できること。   |
| 2   | 実・口／記 | ホワイトガソリン、灯油、ガスを使用するキャンピングストーブ（コンロ）と自然保護の関係について理解していること。また、1機種以上のキャンピングストーブを使用して炊事をした経験があり、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。 |
| 3   | 作     | マッチに防水加工を施し、携帯用の防水容器に入れて提出すること。   |
| 4   | 実     | 班の炊事係として、次の野外料理を作ること。<br>ア 食用野草を含む野菜料理 2種以上<br>イ 牛、豚、鶏などの肉料理 2種以上<br>ウ 塩干魚および生魚の料理 2種以上<br>エ 小麦粉を用いたダンパー、またはツイスト      |
| 5   | 実・報告  | 川などの自然水を使用するときの簡易ろ過装置を図解し作成する。また、ろ過後の水および生水の滅菌ができること。   |
| 6   | 口／記   | 非常食（簡易食品を含む）5種をあげ、その扱いを知ること。  |
| 7   | 口→実   | 炊事用具の正しい使用と管理ができ、次の項目が実演できること。<br>ア 包丁を用いて、料理に応じた野菜の切り方、魚の3枚おろし。<br>イ 使用した炊事用具で食中毒を引き起こさないための衛生管理方法。                  |

### 05.公民章

| No. | 考查方法 | 細目  |
|-----|------|---|
| 1   | 口／記  | 次のうち、1つを選んで説明する。<br>ア 国民の権利、義務、責任<br>イ 民主主義と基本的人権<br>ウ 日本国憲法の三大原則 |
| 2   | 口／記  | 地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何が出来るか説明する。                                  |
| 3   | 口／記  | 日本がどのような国際貢献をしてきたか、また今後求められる国際貢献について説明する。                         |
| 4   | 報    | ボーイスカウト以外で地域に貢献する団体を調べる。  |
| 5   | 話    | 国において市民権とはどういう意味か調べ、どうすればこの国において良き国民となれるか隊長と話し合う。                 |
| 6   | 報    | 新聞等の報道の中から「平和」・「人権」に関する記事を1つ選び、概略をまとめる。                           |
| 7   | 報    | 郷土の歴史、伝統行事、文化遺産について調べ、報告書を提出する。                                   |
| 8   | 発    | 隊長の助言を得て、地域社会での指導的立場にある人を訪問し、仕事や任務について学び、集会で話す。                   |

## 06.パイオニアリング章

| No. | 考查方法      | 細目   |
|-----|-----------|--|
| 1   | 実         | 8の字しばり（または三脚しばり）を用いて、丸太等で三脚を組み立てる。   |
| 2   | 実         | 角しばりと筋かいしばりを用いて、丸太材で台形橋脚（斜め材2本入り）を組み立てる。   |
| 3   | 実         | ロープを強く張るための結びを知り、2種以上の方法を実演する。できれば、滑車を使った場合の方法を知り実演する。   |
| 4   | 実         | 次のいずれか1種を選び、これを構築する。<br>ア 100kg以上の荷や人を積めるいかだ<br>イ 幅30cm以上、長さ3m以上でリュックを背にしたスカウト1人ずつが安全に通れる軽架橋<br>ウ 頂上でスカウト1人が安全に作業できる高さ4.5m以上の信号やぐら |
| 5   | 計・<br>□/記 | 4 で選んだ工作物の設計図を作成し、使うロープの種類、使用するロープ結び等を説明し、資材リストを作成する。  |
| 6   | 計→<br>□/記 | 4 で選んだ工作物の模型を作成し、作業計画書を作成し、作業手順が説明できる。   |
| 7   | 計→<br>□/記 | 4 で選んだ工作物を構築する場合の作業安全計画書を作成し、作業にあたっての安全対策が説明できる。   |

## 07.リーダーシップ章

| No. | 考查方法 | 細目   |
|-----|------|--|
| 1   | 録    | 班長または次長（ベンチャースカウトの場合は議長またはチーフ）として、6か月以上、隊運営に携わる。   |
| 2   | □/記  | 班の係（ベンチャースカウトの場合は隊または活動グループ）において、それぞれの役割について説明できる。 |
| 3   | □→実  | 他のスカウトの進級に向けて、スカウト技能を指導する。                         |
| 4   | 報    | 傾聴について知り、仲間の意見を理解する。                               |
| 5   | 話    | コミュニケーションに関する書籍を読み、自分の意見を隊長と話し合う                   |

## 08.ハイキング章

| No. | 考查方法      | 細目  |
|-----|-----------|---|
| 1   | 報→実       | パトローリングの正しい方法と、その意味を説明する。                       |
| 2   | 報         | ハイキングの装備携行品一覧表を作成する。                            |
| 3   | 実         | ハイキングで観察物を3種類以上スケッチする。                          |
| 4   | □/記       | 地球にやさしい野外活動をするために、ハイキングで何が出来るかを説明できる（アウトドアコード）。 |
| 5   | □/記<br>→実 | 道に迷ったときの対処の方法を説明できる。                            |
| 6   | 実         | ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。                   |
| 7   | □/記       | ハイキングに適切な服装、雨具、靴について説明できる。                      |
| 8   | □/記<br>実  | 自然環境を利用した天気の前測ができる。                             |

## 09.スカウトソング章

| No. | 考查方法 | 細目                         |
|-----|------|----------------------------|
| 1   | 実    | 「君が代」と「連盟歌」を正しく歌える。        |
| 2   | 実    | スカウト歌集から10曲以上、スカウトソングを歌える。 |
| 3   | 実    | セレモニーで連盟歌の指揮を正しく行う。        |
| 4   | 実    | 5曲以上のスカウトソングを歌唱指導することができる。 |

## 10.通信章

| No. | 考查方法 | 細目                                  |
|-----|------|-------------------------------------|
| 1   | 実    | 100m以上離れた2点で手旗の送受信ができる。             |
| 2   | 実    | 号笛または旗を用いたモールス信号で10文字程度の文章の送受信ができる。 |
| 3   | 口/記  | 追跡記号を10種以上覚える。                      |
| 4   | 録・実  | 300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。          |
| 5   | 口/記  | 救難信号の種類と使い方を説明する。                   |

## 11.計測章

| No. | 考查方法  | 細目                                       |
|-----|-------|--|
| 1   | 実     | 自分の身体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。               |
| 2   | 実     | ロープに1m刻みの目盛りを施し、計測に使える。                  |
| 3   | 実     | 100mの距離を誤差5%以内で歩測する。                     |
| 4   | 実     | スカウトペースで2kmを15分で移動する。                    |
| 5   | 実     | はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で測る。      |
| 6   | 作・実   | 自作の簡易測量器具を使い、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。         |
| 7   | 実     | 簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。 |
| 8   | 計・実・報 | 計測を取り入れた集会を計画、実施を行う。                     |

## 12.観察章

| No. | 考查方法 | 細目                                       |
|-----|------|--|
| 1   | 実    | 食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。                  |
| 2   | 実    | 24個の小さなものを1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって覚える。   |
| 3   | 実/録  | ハイキングで観察物を3種以上の方法（写真、スケッチ、拓本、採取など）で記録する。 |
| 4   | 録→口  | 樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。            |
| 5   | 実    | 北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。    |
| 6   | 報    | 身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚類など）について観察し、報告する。        |

### <考查方法の区分>

実：実演 発：発表 口：口述 記：記述 作：作品の提出 計：計画書の提出

報：報告書の提出 録：記録の提出 証：証明書の提示 話：話し合う

<表記例> 口/記：口述または記述 口・記：口述及び記述 口→記：口述後に記述

## 38.コンピューター章（改定）

| No. | 考查方法 | 細目  |
|-----|------|---|
| 1   | 口/記  | 次のことができること。<br>ア コンピュータの歴史について説明する。<br>イ コンピュータの仕組み及びハードウェアとソフトウェアの違いとその役割について説明する。<br>ウ アナログ信号とデジタル信号の違いと、どこで使われているかについて説明する。<br>エ 10進法、2進法及び16進法について説明し、与えられた数字を3種の進数で表記する。 |
| 2   | 口/記  | 次のことができること。<br>ア 入力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。<br>イ 出力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。<br>ウ 記憶装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。<br>エ 各種ケーブル(端子)の種類を列挙し、どのような機器で利用されているか分類する。                   |
| 3   | 実    | プリンター・スキャナーなど、外部入出力装置を5種類パソコンに接続し、実際に使用できること。   |
| 4   | 実    | パソコン内蔵のメモリ・ハードディスクなどのハードウェアを交換できること。  |
| 5   | 実    | 以下について方法を説明し、実演すること。<br>ア OSをアップデートする<br>イ 添付ファイルを付けたメールを送受信する<br>ウ 複数ファイルをひとつにまとめ圧縮し解凍する<br>エ データをバックアップする   |
| 6   | 発    | 現代社会における情報・通信技術について以下を説明し、自身の見解を述べること。<br>ア 一般社会での利用状況と人間生活との関連<br>イ 学校での利用状況と学習向上にもたらす効果<br>ウ 依存することの是非  |
| 7   | 報    | 新聞やインターネットの報道で、情報・通信技術に関する新しい技術を見つけ、内容・応用分野・今後の進展などを報告すること。   |

## 78.報道章

| No. | 考查方法 | 細目  |
|-----|------|---|
| 1   | 口/記  | ジャーナリストの伝記や自伝、評伝などを一冊読み、ジャーナリストの役割や社会的使命について考えを示すこと。  |
| 2   | 口/記  | 地域の新聞社・支局や放送局を見学し、その役割について理解する。ジャーナリストの専門領域にどのようなものがあるか知ること。                                  |
| 3   | 口/記  | 新聞やテレビなどこれまでのメディアと、SNSやWebメディアなどの新たなメディアのそれぞれの機能と役割、社会に与える影響をメディア・リテラシーの観点から自分の考えをまとめて提出すること。 |
| 4   | 作    | メディアで働く人に面会し、ジャーナリストやメディア人として働く喜びや使命感などについて話を聞き、400字程度の記事にまとめて提出すること。                         |
| 5   | 実・報  | 地区や団の情報誌の企画を担当し、その発行に関わるか、定期刊行物がある場合は、編集や記事の執筆で中心的な役割を担った経験があること。                             |
| 6   | 実    | 県連盟や地区の広報責任者に協力して、スカウト活動やイベントなどを地域のメディアに売り込むか、ニュースリリースを作り、広報責任者に提案すること。                       |
| 7   | 報    | 県庁や市役所、企業の広報担当者を訪ね、仕事の概要とメディアとの関係などについて話を聞き、内容を報告すること（可能ならば記者クラブなどの見学を行うこと）。                  |
| 8   | 報    | 行政や企業、NPOの出したニュースリリースを一つ選び、どのような報道であったのか調べ報告すること。   |

## 79.薬事章

| No. | 考查方法 | 細目  |
|-----|------|---|
| 1   | 報    | 薬の起源や歴史（生薬、抽出成分、化合物などの創薬の歴史）について調べ報告すること。   |
| 2   | □/記  | 次の薬の剤形について、それぞれの特徴（用途や使用方法など）が説明できること。<br>ア 錠剤 イ カプセル剤 ウ 散剤 エ 液剤 オ トロージ剤 カ 塗布薬<br>キ 貼付剤 ク 点眼剤 ケ 点鼻剤 コ 点耳剤 サ 吸入剤 シ 坐剤<br>ス 湿布剤 |
| 3   | □/記  | 次の用語について例をあげて説明できること。<br>ア 主作用、副作用 イ 相互作用（薬と薬、薬と飲食物） ウ 薬物アレルギー<br>エ 用法、用量   |
| 4   | □/記  | 次の用語について説明できること。<br>ア OTC医薬品 イ 要指導医薬品 ウ 一般用医薬品（第一、二、三類）<br>エ 医薬部外品  |
| 5   | 報    | 薬物乱用防止について研究し、報告すること。   |
| 6   | □/記  | 症状にあった薬を選び、その理由を説明できること。  |
| 7   | □/記  | 医療用医薬品が市場に出るまで（治療に使われるまで）の過程が説明できること。   |
| 8   | 報    | 過去に起きた薬害について1例をあげて説明できること。  |

## 80.防災章

| No. | 考查方法 | 細目   |
|-----|------|--|
| 1   | □/記  | 地震発生のメカニズムや日本で地震が多く発生する理由について説明できること。                  |
| 2   | □/記  | 自宅や外出時における地震発生の際に適切な対応行動が説明できること。                      |
| 3   | □→実  | 集中豪雨、ゲリラ豪雨(短時間集中豪雨)、土砂災害などの風水害発生時の初動について説明し、行動できること。   |
| 4   | □→実  | 自宅や学校、団本部などの減災対策が説明でき、準備すること。                          |
| 5   | □/記  | 避難所運営の意義、必要性を知り、開設のプロセスを説明できること。                       |
| 6   | 報    | 自分が住む市町村の防災に関する計画を調べ、説明できること。                          |
| 7   | 実→報  | 自治会、町会などの地域、行政が主催する防災訓練、避難訓練や初期消火訓練などに参加し、感想などをまとめること。 |
| 8   | 報    | 自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。                        |
| 9   | 作    | 身の周りの物を使って防災グッズを5点以上作り、提出すること。                         |
| 10  | 計→実  | 隊もしくは団で防災に関わる訓練プログラムを企画・計画し、隊長の承認のもとで実施すること。           |

## 81.情報処理章

| No. | 考查方法 | 細目  |
|-----|------|---|
| 1   | 口/記  | 以下について説明できること。<br>ア オペレーティングシステム<br>イ コンパイラーとインタープリターの違い。<br>ウ プログラミング言語を5種類あげ、特徴と用途。<br>エ クライアント・サーバーモデル。  |
| 2   | 実    | 任意のプログラム言語で、以下のプログラムを作成し、実際に実行させる。<br>ア 整数Nを入力し、1行目'*', 2行目 '**', 3行目 '***'...のように、N行分、行番号の数だけの'*'を出力する。<br>イ 名前がランダムに出力される「くじびき」を作り、何度か実行した後、誰が何回選ばれたか集計を表示する。 |
| 3   | 実・作  | 団行事(体験入隊会やバザーなど)のポスターやチラシを作成できること(文字だけでなく、イラストや写真などの図を含めること)。   |
| 4   | 発    | プレゼンテーションソフトを利用し、団や隊の活動を発表する。   |
| 5   | 実    | 表計算ソフトなどを利用し、出席状況・進級状況・会計などを、継続管理できる方法でまとめる。  |
| 6   | 実    | スカウト活動を紹介する3分以上の動画を作成できること。   |
| 7   | 報    | コンピューターやインターネットを活用した便利なサービス(情報検索・通販・各種予約・地図情報など)のうち1つについて、どのような仕組みで実現されているか調べ報告する。  |
| 8   | 計    | コンピューターやスマートフォンなどを活用した新しいサービスを考案し、実際にシステムを構築するか、構築するのに必要なハードウェア・ソフトウェアについてまとめる。   |

## 82.情報通信章

| No. | 考查方法 | 細目   |
|-----|------|--|
| 1   | 口/記  | 以下について説明できること。<br>ア プロトコルの意味と、実際に通信技術で使われているプロトコルの方法(1つ以上)。<br>イ 暗号化の意義と、実際に通信技術で使われている暗号化の方法(1つ以上)。                     |
| 2   | 口/記  | 通信に関する次の用語について説明できること。<br>ア LAN イ WAN ウ ルーター エ ハブ オ DHCP カ ネゴシエーション<br>キ ゲートウェイ ク Wi-Fi ケ IPアドレス コドメイン サ URL シ Bluetooth |
| 3   | 口/記  | セキュリティに関する次の用語を説明し、それぞれの対策や活用方法について説明できること。<br>ア パスワード イ コンピューターウィルス ウ ファイアーウォール エ SSL<br>オ フィッシング カ デジタル証明書 キ 脆弱性       |
| 4   | 口/記  | 各種ユーザ認証方法の特徴をあげ、長所と短所について説明できること。  |
| 5   | 報    | 家庭内でインターネットに接続している機器をすべてあげ、それらがインターネットをどのように使っているのかを調べること。   |
| 6   | 実→報  | 家庭内や団本部などでLANを構築し、複数台のパソコンでファイルやプリンターを共有、インターネットを利用できるようにし、使用した機器や設置場所、機器とパソコンの設定状況について報告すること。                           |
| 7   | 口/記  | 任意のクラウドサービスの特徴をあげ、特徴を活かした利用方法と、利用上留意すべきことを説明できること。   |
| 8   | 報    | 任意のWebサイトについて、使い勝手の良否やセキュリティ・著作権侵害などの問題を評価し、改善方法についてまとめて提出すること。  |

## 83. ネットユーザー章

| No. | 考查方法 | 細目   |
|-----|------|--|
| 1   | 口/記  | スマートフォンでインターネットが利用できる仕組みを調べる。  |
| 2   | 報    | 自身の利用方法や端末の設定を見直し、改善点を考える。   |
| 3   | 実    | 検索エンジンを使用して、出題されたテーマの情報を実際に検索する。   |
| 4   | 実    | 指定された2地点間のルートをインターネットの経路検索サービスを活用して求め、それに沿って正確に移動する。   |
| 5   | 口/記  | 各種SNSについて、以下を説明できること。<br>ア 特徴と、特徴を活かした利用方法<br>イ 利用上留意すべきこと<br>ウ スカウト活動での活用方法   |
| 6   | 口/記  | SNSやWebサイトの閲覧、電子メール、公衆Wi-Fiの利用における以下のセキュリティリスクと被害者および加害者にならないための防止策、発生した場合の対応について説明できること。<br>ア アカウントの乗っ取り イ 個人情報の漏洩、被特定被害 ウ 炎上<br>エ ウイルス感染による情報流出 オ 儲け話、出会い系サイトなどによる犯罪被害<br>カ メールやWEBサイトによる身に覚えのない料金請求 |
| 7   | 口/記  | インターネット利用における著作権違反で告発されるリスクをあげ、次の具体的な防止策を説明できること。<br>ア 違法ダウンロード、アップロード イ 著作物の引用<br>ウ インターネット上で入手したファイルの再利用   |
| 8   | 実    | スカウト活動に役立つインターネットの利用として、指導者の許可を得て以下のいずれかを実際に行う。<br>ア SNSへのPR投稿(動画も含む)<br>イ 団ホームページの立ち上げ、管理<br>ウ 活動計画の団・隊内での共有  |

### <考查方法の区分>

実：実演 発：発表 口：口述 記：記述 作：作品の提出 計：計画書の提出

報：報告書の提出 録：記録の提出 証：証明書の提示 話：話し合う

<表記例> 口/記：口述または記述 口・記：口述及び記述 口→記：口述後に記述

### <技能章考查員に求められる基準>

- 02 野営管理章 スカウトキャンプに熟練しており、野営法研究会の指導要員になったことがある者
- 03 救急章 救急隊員もしくは救急医療に携わる者、または日赤救急法救急員認定証を有する者
- 06 パイオニアリング章 ロープ結びに堪能で、大型構築物の構造設計および作業の安全管理ができ、構築の指導の経験を有する者
- 78 報道章 ニュース等の報道または、企業・行政・団体等の広報の経験を有する者
- 79 薬事章 薬剤師または医師である者
- 80 防災章 行政や地域、企業や団体の防災担当者か、担当した経験のある者
- 81 情報処理章 情報処理技術者であるか、IT 業務に従事して専門知識を有する者
- 82 情報通信章 情報処理技術者であるか、ICT 業務に従事して専門知識を有する者
- 83 ネットユーザー章 ネットリテラシーの教育に携わり、指導の経験を有する者